

ノコギリヤシエキス含有食品の前立腺肥大症改善効果に関する臨床試験結果

●実験方法

事前問診により、軽度～中度前立腺肥大症患者と認められた日本人男性 12 名を次の 2 つのグループに分け、臨床試験を実施した。それぞれ被験食品を 8 週間摂取させ、その前後で IPSS (国際前立腺症状スコア) を比較した。

被験者： グループ(1)ノコギリヤシエキス含有食品群 6 名 (66.7±1.6 歳)

グループ(2)プラセボ(*)群 6 名 (60.5±4.5 歳)

偽薬、擬薬。治験薬と薬効や安全性などのデータを比較するために用いられるもので、通常、治験薬と色や形は似ていながらも、有効成分は含んでいない。

被験食品： ノコギリヤシエキス含有食品・・・2 粒(ノコギリヤシエキス 320mg 含有)/日
プラセボ・・・2 粒/日

摂取期間： 8 週間	IPSS(国際前立腺症状スコア)とは
実施施設： 東京都中野区 高崎医院	WHOの委員会で認められている、排尿に関するアンケート。答えを点数化することで、前立腺肥大の症状の段階が分かります。7 個の項目から成り立ち、各項目 0～5 点で採点し、合計 35 点満点となります。

IPSS(国際前立腺症状スコア)

最近 1 ヶ月の症状について

対応症状	質問項目	まったく なし	5 回に 1 回以下	2 回に 1 回以下	2 回に 1 回	2 回に 1 回以上	ほとんど いつも	
閉塞症状	残尿感	(1). 小便 した後、 残尿感が ありますか	0	1	2	3	4	5
	尿線途絶	(2). 小便 する時、 小便の線 が途絶す ることがあ りますか	0	1	2	3	4	5
	尿勢低下	(3). 小便 の線が細 かいことが ありますか	0	1	2	3	4	5
	腹圧排尿	(4). 小便 をし始め る時、いき	0	1	2	3	4	5

		みますか						
刺激症状	頻尿	(5). 小便した後、2時間以内にまた小便したくなることがありますか	0	1	2	3	4	5
	尿意切迫感	(6). 小便を我慢できなことがありますか	0	1	2	3	4	5
	夜間頻尿	(7). 夜寝てから朝起きるまでに何回小便に起きますか (回数＝得点)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

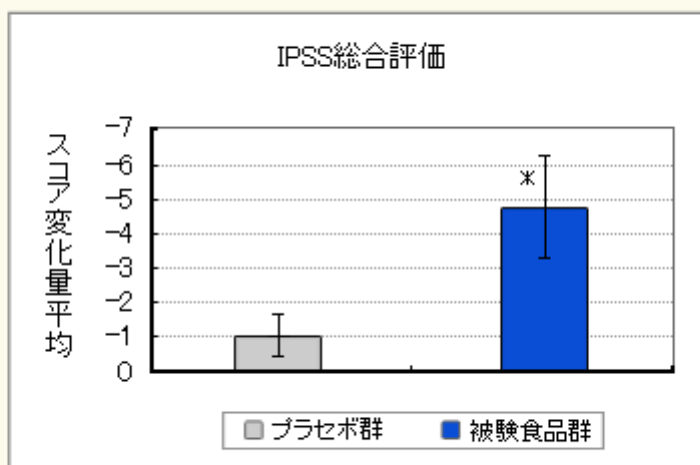
(1)～(7)の合計点数 軽症(0～7点)、中等症(8～19点)、重症(20～35点)

結果(1)

実験前後の IPSS スコアにおいて、ノギリヤシエキス含有食品群はプラセボ群と比較して統計学的有意に改善がみられた。

【スコア変化量がマイナスに推移するほど改善を示す】

改善

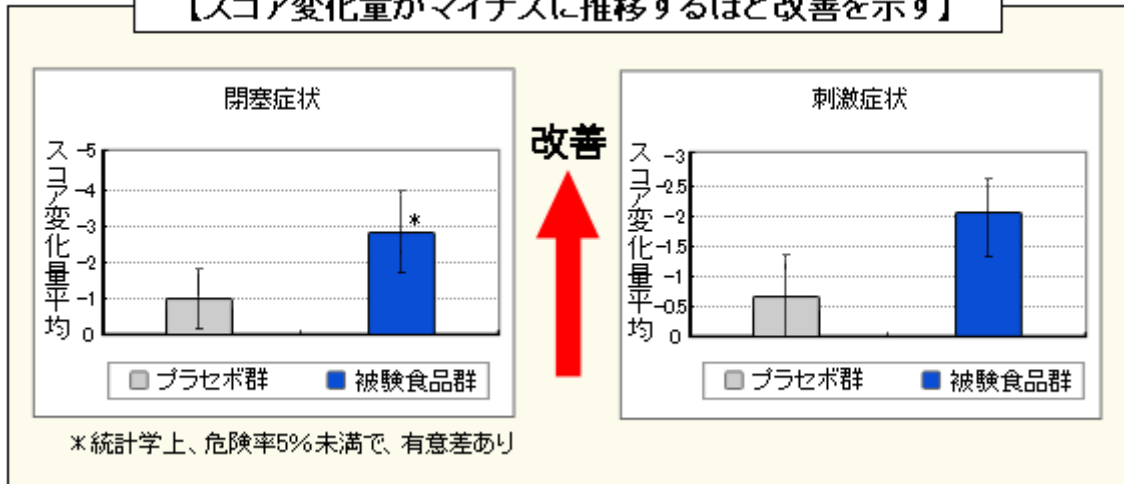


*統計学上、危険率5%未満で、有意差あり

結果(2)

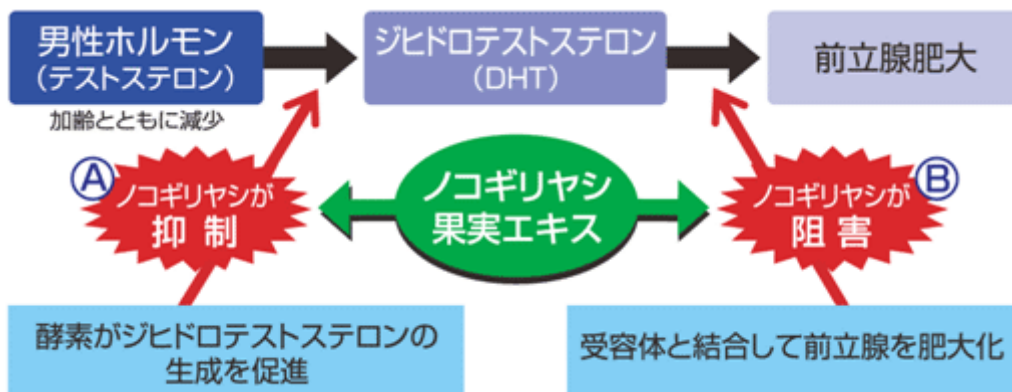
ノギリヤシエキス含有食品の摂取にて、閉塞症状(残尿感、尿線途絶、尿勢低下、腹圧排尿)において統計学的有意に改善がみられた。また、刺激症状(頻尿、尿意切迫感、夜間頻尿)においても改善傾向を示した。

【スコア変化量がマイナスに推移するほど改善を示す】



前立腺肥大症におけるノコギリヤシの働き

加齢によって男性ホルモン(テストステロン)の分泌が減少すると、前立腺は血中から男性ホルモン(テストステロン)の取り込みを強化します。取り込まれたテストステロンは、酵素の働きでジヒドロテストステロン(DHT)となって蓄えられ、ジヒドロテストステロン(DHT)の濃度が高まって前立腺が肥大するとされています。ノコギリヤシは、ジヒドロテストステロン(DHT)の生成を抑制し、前立腺の肥大化を防ぎます。



<ノコギリヤシの果実エキスの働き>

(A) テストステロンをジヒドロテストステロン(DHT)に変える酵素の活性を抑制する

(B) ジヒドロテストステロン(DHT)が前立腺細胞内の受容体と結合するのを阻害する

ほかに、細胞増殖抑制作用、抗炎症作用などで前立腺細胞の活性化を抑える

以上